

## 兵庫県の新たな被害想定！ - 西日本防災システム

2014 06 03

6月3日 兵庫県は南海トラフ巨大地震が発生した場合、最悪の場合、死者が**29,100**人に上るとする最新被害想定を発表しました。神戸市 **9,344**人、尼崎市 **8,343**人、西宮市 **6,974**人、南あわじ市 **1,473**人など極めて被害は大きく、津波による死者が96%を占めると予想しています。建物の全半壊は**214400**棟とされる一方で、建物の耐震化、防潮堤の強化、津波避難の迅速化を完全に実施すれば、死者は400人にまで減らせるとの試算も盛り込んでいます。この地震の兵庫県内想定死者数について、国は2012年8月に、最悪で7400人(全国で32万3千人)と公表していましたが、その後、県が詳細な地盤情報に基づき作成した独自の浸水想定図は、液状化による防潮堤の沈下などで浸水域が国想定**の3・2倍**に広がりました。想定では、マグニチュード9クラスの地震で、洲本、南あわじ市で震度7、神戸、阪神、播磨地域で最大6強の揺れが3分程度続くとしています。その後、南あわじ市で最大**8・1メートル**の津波が**44分**後に、神戸市で**83分**後に同**3・9メートル**の津波が到達と予想しています。

人的被害は、時期、時間帯を ①冬の早朝(午前5時)②夏の昼間(正午)③冬の夕方(午後6時) -と想定し、沿岸部で人口が増える②夏の正午が被害最大と想定しています。揺れによる建物の全壊は約3万2千棟で、半数以上が淡路島に集中すると想定、淡路島の建物総数の4割が全半壊の被害を受けるとしています。

家屋倒壊や火災などで千人以上が死亡する上、防潮堤や河川堤防のうち計50キロで津波が越流し、浸水域にいる人の70%がすぐに避難しても、約2万8千人が死亡するとされます。

尼崎、西宮市の海拔ゼロメートル地帯では、計620ヘクタールで津波が収まった後も水が引かず、最大6万人以上の住民が取り残されるため、ゴムボートの活用など救出方法の検討を促しています。

ライフラインの被害は、災害発生1週間後も16万人が断水で影響を受け、192万人が下水道を使えない状態となるようです。11万5千人以上が1週間以上の避難生活を強いられ、発生当日は59万人が帰宅困難となります。

建物やライフラインの被害額、災害廃棄物処理などの費用は阪神・淡路大震災(約10兆円)の6割に当たる約5・5兆円と積算しています。

被害想定ですから、あくまでも想定なのですが…… これだけ大きな被害が予想されると、毎日の生活をこの地で営んでいる私達は、不安になりますね。そのためにも、イザ！ という時がやってきた場合の、対処を決めておきましょう！ 地震発生時この辺りにいたら こうしよう！ 子供と離れていたら打合せどおり こうしよう！ 避難するのは ここかあそこ！ 様々な備蓄は少しずつ行っておこう！ などなど…… 日頃からご家庭で小さなことを話し合っておくこともとても大切だと思います。



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

